



## 若いもんにはあ負けられません 「生きいき人間ふれあい祭」

1月26・27日 いつまでも若々しい心と健康な体を保つため、仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりをしていただこうと、ロゼシアターで生きいき人間ふれあい祭が行われました。展示室には、陶芸、竹細工など、市民が制作した作品が飾られ、シャッフルボードなどの屋内スポーツも開催。中ホールでは、市民による舞踊、大正琴・草笛などの演奏のほか、芸能人による落語や曲芸なども行われました。訪れた人は、舞台に大きな声援、拍手を送ったり、演奏に合わせてみんなで曲を口ずさむなど、会場が一体となって楽しみました。

## 富士市に合唱つきピアノコンチェルト誕生 「見よ西風からの富士」をロゼシアターで初演

1月30日 合唱つきピアノコンチェルト「見よ西風からの富士」が完成し、ロゼシアターで発表されました。この曲は、市が作曲家の三枝成彰さんに依頼してつくったオリジナル曲。発表は、新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートで行われ、新日本フィルの演奏



と神谷郁代さんによるピアノ、富士市民約120人による合唱によって、この曲は奏でられました。

曲の感じは、始めは荒々しいメロディーで富士

山が爆発してき上がる過程をあらわし、次の静かな部分では日本の象徴としてある富士山、最後は世界に向けて愛される山としての富士山をイメージしてある感動的な曲。作曲した三枝さんは、「ピアノと合唱のコンチェルトは世界でも珍しい」「頻繁に演奏される曲にしたい。少なくとも日本全国で」「絶対に楽しめる曲」とコメント。この曲は、3月6日に東京のサントリーホール、その後神戸で演奏されることが決まっています。



作曲家の三枝成彰さん

### オーシャンサイド ナウ vol. ⑩



このコーナーでは、富士市の姉妹都市、アメリカ合衆国カリフォルニア州オーシャンサイドの広報担当ラリー・バウマンさんから送られてくる、ホットな情報をお知らせします。

ハロー！皆さん。今回の話題は1月17日に起こったロサンゼルス大地震についてです。

#### ＝ロスの被害は莫大なもの＝

皆さんもテレビや新聞でご存知だと思いますが、1月17日、ロサンゼルスを中心に、大地震が起こりました。高速道路や建物は崩壊し、水道管は破裂して道路から水が噴出。その上火災も発生し、多くの被害と犠牲者を出しました。

被害額は1兆1,000億円(高速道路だけで1,100億円)。高速道路の復旧には1年以上かかると言われています。

#### ＝家が大きく揺さぶられた＝

ロサンゼルスとオーシャンサイドの距離は約130キロ。こちらでも、かなり強い揺れを感じました。

地震があったのは、朝4時30分。私と家族は激しい揺れによって起こされました。揺れはだんだんと強くなり、私たちのいる寝室が前後に揺さぶられ



△オーシャンサイドの住宅

ました。揺れはかなり激しく、家を離れなければ、と考えさせられたほどです。しかし好運にも、オーシャンサイドでは地震による被害や負傷者もなく、余震による影響も今のところありません。

富士市も地震の多いところと聞いています。いざという時のために、日ごろから準備をしてくださいね。